

「水害の記憶を未来へ」  
～昭和61年8月5日洪水から30年の行事を開催します。～

吉田川が4カ所で破堤し、大崎市鹿島台(旧鹿島台町)が壊滅的な被害を受けた「昭和61年8月5日洪水」から今年で30年を迎えます。しかし、河川の整備による安全性の向上や時間の経過とともにその記憶は薄れていく傾向にあります。

このことから、過去の水害の記憶を忘れることなく、後世に語り継ぎ、地域住民の方々に防災意識を高めていただくとともに、治水事業に理解を深めていただくことを目的に、「鳴瀬川等の減災に係る取組方針」(平成28年7月5日策定)の取組の一環として、各種行事を開催します。

- 8月5日(金) 鎌田記念ホールの内外(大崎市鹿島台)
- ・洪水到達水位標除幕式
  - ・藤森涼子氏(NPO気象キャスターネットワーク代表)による基調講演
  - ・親子お天気教室
  - ・パネル展示・ゲリラ豪雨展(8/4～8/6)
  - ・災害対策車展示
  - ・「簡易アラート装置」の展示
- ※詳細は別紙-1
- 7月8日(金)～9月16日(金) 道の駅おおさと 他
- ・巡回パネル展
- ※詳細は別紙-2

〈発表記者會〉

石巻記者クラブ、古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先



国土交通省 北上川下流河川事務所  
宮城県石巻市蛇田字新下沼80  
電話：0225-95-0194(代表)

技術副所長 こんの ひろみ 今野 裕美 (内線205)  
工務第二課長 つちだ あきお 土田 昭夫 (内線321)

宮城県 北部土木事務所  
宮城県大崎市古川旭4丁目1番1号  
電話：0229-91-0731

ふかぼり ひろよし  
河川砂防第二班長 深堀 浩克

大崎市 鹿島台総合支所  
宮城県大崎市鹿島台平渡字上戸下26-2  
電話：0229-56-7111

おおとも たくお  
地域振興課長 大友 卓雄

# 「昭和61年8月5日洪水」から30年 水害の記憶を未来へ

～過去を教訓に、未来の災害に 備え・学び・伝え～



8/5(金)午前10時 オープニングセレモニー(洪水到達水位標除幕式)

とき **8月4日(木)～6日(土)**

会場 **鎌田記念ホール《多目的ホール 他》**

大崎市鹿島台木間塚字福芦335番地1

「昭和61年8月5日洪水」から30年を迎える本年、水害の記憶を風化させることなく、後世に語り継ぎ、地域住民のみならず、防災意識を高めるとともに、治水事業に理解を深めていただくことを目的として、様々な催しを開催するものです。



8/5(金) **基調講演** 11:00～12:00 **入場無料**  
(定員300名)

「異常気象と防災」～水害から身を守るために～

藤森 涼子氏 NPO法人気象キャスターネットワーク 代表

最近の異常気象と災害の状況を紹介しながら、どのように防災減災すべきかを考え、今後の防災減災に活かしていきます。



8/4(木)～6(土) 9:00～17:00

**パネル展示・ゲリラ豪雨展**

8.5洪水当時の水害写真をはじめ、近年起こった豪雨や洪水、ゲリラ豪雨についての写真・資料を展示します。

**災害対策車展示**

8/5(金) 9:00～16:00 会場 鎌田記念ホール《駐車場》

**巡回パネル展 7月～9月**

- 会場
- 鹿島台鎌田記念ホール
  - JR鹿島台駅自由通路
  - 大崎市鹿島台総合支所
  - 道の駅おおさと
  - 松島町文化観光交流館
  - 道の駅三本木
  - 大崎合同庁舎
  - 松山公民館

8.5洪水当時の水害写真や9.11関東・東北豪雨に関する写真や資料等のパネル展示、インフラ整備に関する説明パネルにより雨の大変さや怖さを認識し、大切なことは何なのかを考える機会とします。



8/5(金) **親子お天気教室** **同時開催**

14:00～15:30 …NPO法人気象キャスターネットワーク

第一線で活躍する気象キャスターを講師に迎え、気象について体験しながら学び、防災意識を高めます。

※事前申込みが必要です。

●申込み先：大崎市鹿島台総合支所 地域振興課 Tel.0229-56-5520

主催 **国土交通省東北地方整備局・宮城県・大崎市**

後援 **松島町・大郷町** 共催 **(一社)東北地域づくり協会**

20XX 未来  
Future

2016 現在  
Current

1986 記憶  
Memory



# 「昭和61年8月5日洪水」から30年 水害の記憶を未来へ ～過去を教訓に、未来の災害に 備え・学び・伝え～

## 実施目的

吉田川が4箇所破堤し、旧鹿島台町が壊滅的な被害を被った「昭和61年8月5日洪水」から平成28年8月5日で30年を迎えます。

しかし、その危険はインフラの整備及び水害経験者の高齢化などにより薄れゆく傾向にあるとともに、昨今の異常気象による集中豪雨や夏季に限らない爆弾低気圧によるゲリラ豪雨、台風の巨大化による災害など、日本列島は今までに類を見ない災害の形が増加しております。

このような背景の中、平成27年9月11日に起きた関東・東北豪雨をはじめ、洪水・水害の記憶を風化させないこと、つまり、後世に語り継がせる義務を果たすことが最も重要であります。

本イベントは、昭和61年8月5日の洪水・水害の記憶を風化させない、後世に語り継ぐことのほか、地域住民の防災意識を高めることを目的に実施するものです。

## プログラム

10:00	オープニングセレモニー（洪水到達水位標除幕式）	※除幕式後、開場
10:30	開会 挨拶	
11:00	基調講演・・・「異常気象と防災」～水害から身を守るために～	
	————— ●NPO法人気象キャスターネットワーク 代表 藤森 涼子 氏	
14:00	親子お天気教室	
	————— ●NPO法人気象キャスターネットワーク NHK仙台放送局 気象キャスター 竹下 愛実 氏 他	
15:30	閉会	

## 出演者 プロフィール

### 基調講演

#### 藤森 涼子 RYOKO FUJIMORI

日本テレビキャスター・気象予報士。  
特定非営利活動法人「気象キャスターネットワーク」理事長。  
平成27年度 国土交通省交通政策審議会 臨時委員

熊本生まれ、父親の転勤で、福岡→香川→広島→大阪→札幌→埼玉→東京と全国各地に住む。大学在学中にTBSテレビのオーディションに合格。気象番組や朝の情報番組の気象キャスターを担当。その後日本テレビに移り、現在は24時間ニュース専門チャンネル「日テレニュース24・デイリープラネット」火～木曜日の気象キャスターを務めている。また、特定非営利活動法人「気象キャスターネットワーク」理事長として環境、防災、気象をテーマに活動をし、特に小学校での出前授業や親子向けイベント、被災地支援などに精力的に取り組んでいる。被災地ボランティアイベントで南三陸町、気仙沼市、東松島市、岩沼市などに訪れた経験あり。好きな言葉は「明日は明日の風が吹く」趣味は社交ダンス、宮古島でのシュノーケリング、花の写真撮影。



### 親子お天気教室

#### 竹下 愛実 MEGUMI TAKESHITA

NPO法人気象キャスターネットワーク 会員  
NHK仙台放送局 気象キャスター

●愛知県出身 ●担当番組：「おはよう宮城」「ひるはび」「ウイークエンド東北」  
●趣味・特技：寺や神社でのんびりすること、着物の着付け、料理（和洋中なんでも、パンやお菓子も）●座右の銘：「本当に悪い天気というのはなく、いろんな種類の「いい天気」があるだけ」（イギリスの評論家ジョン・ラスキンの言葉）



### ●NPO法人 気象キャスターネットワークとは・・・

気象キャスターネットワーク（WCN）は、多くの人々と気象予報士、気象キャスターが一体となって、地球環境問題の解決や気象災害の軽減に関する啓発活動や環境・気象教育、環境イベントを実施しています。

# 水防災意識社会 再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「**水防災意識社会 再構築ビジョン**」として、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

**<ソフト対策>** ・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「**住民目線のソフト対策**」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

**<ハード対策>** ・「**洪水を安全に流すためのハード対策**」に加え、**氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」**を導入し、平成32年度を目途に実施。

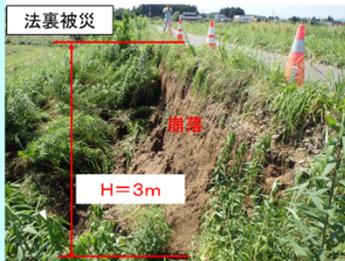
## 主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

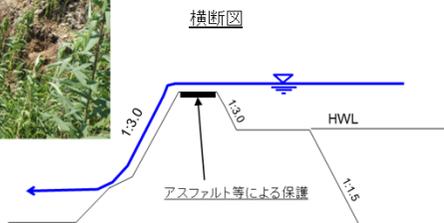
### <危機管理型ハード対策>

- 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進

#### <被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>



天端のアスファルト等が、越水による侵食から堤体を保護  
(鳴瀬川水系吉田川、平成27年9月関東・東北豪雨)



### <洪水を安全に流すためのハード対策>

- 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

### <住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
  - ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表
  - ・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
  - ・不動産関連事業者への説明会の開催
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
  - ・タイムラインの策定
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
  - ・水位計やライブカメラの設置
  - ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供



家屋倒壊等氾濫想定区域※

※ 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域

# 鳴瀬川等の減災に係る取組方針（概要）（平成28年7月5日策定）

■ 鳴瀬川等において、市町村、県、国が一体となって、「水防災意識社会」を再構築するための取組方針を東北で初めて策定した。

■ これまで、国などの河川管理者により堤防整備などのハード対策を主としてきたが、今回は、地域住民の安全・安心を担う沿川の市長・町長・村長らも参加し、氾濫することを前提とした減災に資する取組として、ハード対策のみならず、避難行動や水防活動などのソフト施策にも重点を置いた取組方針をとりまとめた。

協議会では、一旦、堤防が決壊すると拡散型の氾濫で広範囲に浸水する一方で、氾濫水が集まる地域においては長時間の浸水になる鳴瀬川等流域において、平成27年9月関東・東北豪雨による浸水被害、ハード対策の実施状況、昭和61年8月洪水を受け実施した「水害に強いまちづくり事業」を踏まえ、更に、構成機関によるこれまでの減災にかかるソフト対策の取組状況の共有を行い、以下の主な課題を抽出した。

○広範囲かつ長期間の浸水による多数の孤立者、交通網の寸断

○夜間の急激な水位上昇時における情報伝達のあり方

○住民の水害に対する防災意識の低下

この課題を踏まえ、「水防災意識社会」を再構築するため、『長期間浸水した昭和61年8月洪水、夜間に急激な水位上昇を記録した平成27年9月関東・東北豪雨等の教訓を踏まえ、鳴瀬川等の大規模水害に対して「逃がす・防ぐ・取り戻す」ことにより「氾濫被害の最小化」を目指す』ことを目標とし、市町村、県、国が一体となって行う減災の取組方針をとりまとめた。

目標の達成に向け、概ね5年で実施する取組みとして、河川管理者が実施する洪水を安全に流すハード対策や危機管理型ハード対策に加え、以下の項目を3本柱としたソフト対策を実施することとした。

- ①住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーションの取組
- ②発災時に人命と財産を守る水防活動の強化の取組
- ③一日も早く日常生活を取り戻すための排水活動の強化等の取組

・隣接市町村間の避難計画の策定  
・緊急排水計画(案)の作成及び訓練  
・要配慮者利用施設等と連携した訓練の実施

・避難行動等に資する水位計や簡易アラート装置の設置  
・夜間等の急激な水位上昇を想定したタイムラインの改善と訓練の実施  
・防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等の配付

・隣接市町村間の避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知  
・地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施  
・防災情報を集約したポータルサイトの整備

## 主な取組内容

■ この取組方針では、次段階で、想定最大規模の洪水に対する取組を検討することとしている。また、毎年出水期前には協議会を開催し、進捗状況を共有するなど、フォローアップを行い、水防災意識を高めていくこととしている。

# 第2回鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会 平成28年7月5日開催

## 【鳴瀬川等の減災対策協議会について】

- 鳴瀬川等において、市町村、県、国が一体となって、「水防災意識社会」を構築するための取組方針を東北で初めて策定した。
- 会場に簡易アラート装置を設置し、首長を含めた構成員の前でデモンストレーションを実施した。
- 本協議会では、沿川市町村、県、気象台より今後5年間で実施する取組等について発言された。

## 【鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会】

### 【委員構成】

東松島市長	大衡村長	気象庁	仙台管区気象台	気象防災部長
大崎市長	色麻町長	宮城県	総務部長	
松島町長	加美町長		土木部長	
大和町長	涌谷町長		仙台土木事務所長	
大郷町長	美里町長		北部土木事務所長	
富谷町長			東部土木事務所長	
		国土交通省	北上川下流河川事務所長	
			鳴瀬川総合開発調査事務所長	
			鳴子ダム管理所長	

## 主な意見内容

- 非常時には、国、県、市町村の垣根を越えて、関係機関が連携したスピード感が重要。
- 地域の防災訓練を地震中心から、地震と水害の複合型訓練に変更した。
- 本取組方針を地域に周知していく。
- 夜間の急激な水位上昇に早めに対応するため、タイムラインの充実等を行う。
- 水防活動時の安全管理が必要。
- 孤立集落がいくつか想定されるので、隣接する市町村と今後調整していきたい。
- 大規模氾濫時における適切な避難ルートの選定、確保を検討していきたい。
- 水防活動の人手が足りない。水防資機材も含め考えていかなければならない。



▲ 集合写真  
(H28.7.5 大崎生涯学習センター)



▲ 協議会開催状況



▲ 簡易アラート装置の  
デモンストレーション実施状況



▲ 大和町長からの発言状況

# 簡易アラート装置の設置

- 管内水系の水害リスクが高い箇所を監視するため、センサーネットワーク技術を活用した簡易アラート装置の開発などの水位監視システムの構築



## 設置イメージ



# 「昭和61年8月5日洪水」から30年 水害の記憶を未来へ

～過去を教訓に、未来の災害に 備え・学び・伝え～

## 巡回パネル展

8.5洪水当時の水害写真や9.11関東・東北豪雨に関する写真や資料等のパネル展示、インフラ整備に関する説明パネルにより雨の大変さや怖さを認識し、大切なことは何なのかを考える機会とします。

### パネル展 巡回スケジュール

<b>会場</b> 道の駅おおさと 〒981-3521 黒川郡大郷町中村字北浦51-6	<b>会場</b> 松山公民館 〒987-1304 大崎市松山千石松山428
<b>とき</b> 7月8日(金)～7月15日(金) 9:00～17:00	<b>とき</b> 8月8日(月)～8月18日(木) 9:00～17:00
<b>会場</b> 松島町文化観光交流館 〒981-0212 宮城県松島町磯崎浜1-2	<b>会場</b> 大崎市鹿島台総合支所 〒989-4103 大崎市鹿島台平渡上戸下26-2
<b>とき</b> 7月20日(水)～8月9日(火) 9:00～17:00	<b>とき</b> 8月17日(水)～8月31日(水) 9:00～17:00
<b>会場</b> JR鹿島台駅自由通路 〒989-4103 大崎市鹿島台平渡字銭神1	<b>会場</b> 道の駅三本木 〒989-6321 大崎市三本木字大豆坂63-13
<b>とき</b> 7月25日(月)～8月16日(火) 9:00～17:00	<b>とき</b> 8月18日(木)～8月31日(水) 9:00～17:00
<b>会場</b> 鹿島台鎌田記念ホール 〒989-4102 大崎市鹿島台間塚福芦335-1	<b>会場</b> 大崎合同庁舎 〒989-6117 大崎市古川旭四丁目1-1
<b>とき</b> 8月4日(木)～8月6日(土) 9:00～17:00	<b>とき</b> 8月31日(水)～9月15日(木) 9:00～17:00

入場無料・申込不要



2016 現在  
Current

20XX 未来  
Future